

巡回訪問トピックス 1号



巡回訪問でお伺いした際には、様々な情報やお話を聞かせていただきありがとうございます。
今回、「つうしん」とは別に訪問先で得た事例を中心に、いろいろな情報を加え『巡回訪問トピックス』として、お伝えしたいと思います。

写真撮影について



散歩先の公園などで、子どもたちの遊んでいる姿を保育者がスマートフォン、タブレット、カメラ等で撮っている姿をよく見かけるようになりました。

「子どもを撮ることに夢中になり、目を離れた際に他の子どもが危険な場所に行ってしまった」「子どもが他の園に紛れたりしていても、保育者が気付いていない」等の事案が、同じ公園にいた他の園や、地域の方から寄せられています。

保護者に保育の内容を伝えるツールとして写真はとても有効ですが、保育にとって一番大切なのは、子どもの安全です。写真を撮るときは、役割分担として写真係を決めるなど、子どもの安全確保を第一に行いましょう。

地域防災拠点について

災害時に万が一、園にいることが難しくなった時には地域防災拠点に行くことになります。その時は園の備蓄品を持っていきましょう。

地域防災拠点には、地域の方の備蓄品はありますが、園児のものは園で準備します。備蓄のすべてを持っていくことはないので、分けて備蓄しておくことと持ち出すときに便利です。

園児の安全を確保しながら、避難訓練時に役割の一つとして、決めておくのと良いですね。



人数確認について

保育中に、人数を数えることは1日に何回もあります。人数確認は、リーダーだけでなく、必ず複数で声を出して行いましょう。「〇人」と数字での確認だけでなく、子ども一人ひとりを確認することが大切です。

行方不明、置き去りなど人数の未確認からの事故が多く起こっています。

行方不明・置き去り件数

令和2年度 19件

令和3年度(8月現在) 9件
(横浜市事故データベースより)

子どもの活動範囲の把握を日常的に行い、見失いを防ぎましょう。職員間のコミュニケーションを図り、情報共有を行うことが大切です。

下痢・嘔吐処理に関する取組み例

下痢・嘔吐時の処理手順について、各園で様々な感染症拡大防止の取組がされています。

例えば…A園では

処理方法の園内研修で、溶いた絵の具を嘔吐物に見立て、1m程の高さ【子どもの身長】から落として、飛び散り具合と処理方法を体験しました。

B園では

家庭内感染防止のため、嘔吐物が付着した衣類等を保護者に渡す際に、家での消毒・洗濯の方法を知らせるメモを添えています。



～巡回訪問つうしんについて～

これまで発行した「巡回訪問つうしん」等は、横浜市のHPに載っています。日々の保育の中でご活用ください。

<ul style="list-style-type: none"> ・熱中症について編 ・楽しい散歩のために編(2ページ) ・子どもの骨折を防ごう編 ・アレルギー事故を防ぐために編 ・安全で健やかな睡眠のために編 ・事故防止のアンケート集計結果(6ページ) ・エタノール・次亜塩素酸ナトリウム等薬品の使用方法・管理・保管のポイント 	<ul style="list-style-type: none"> ・重大事故防止！ヒヤリハットを活用しよう編 ・情報共有・コミュニケーション編 ・事故対応のシミュレーション編 ・誤嚥・誤飲編(2ページ) ・水遊び・プール遊び編 	<p>※掲載先 URL https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/hoiku-yoji/shisetsu/info/yoko/youshikiany.html</p> <p>横浜市トップページ>暮らし・総合>子育て・教育>保育・幼児教育>保育所・保育施設>保育所に関する情報>要綱・様式>給付対象施設・事業 要綱・様式</p>
---	--	--